

# YOMOCA

## 読書週間



6月9日～15日は読書週間です☆  
期間中は貸出冊数が8冊になります

図書委員会では年に2回読書週間の期間を設け、全校へ放送や、朝の玄関で呼びかけをしています。期間中は貸出冊数が通常の6冊よりも2冊多く借りられるようになります。この機会にぜひたくさんのお本を借りてみてください！貸出期間はいつも通りの1週間ですが、もし「読み切れなかった！」という場合は「延長したい！」と図書室に伝えてください。本を持ってこなくても大丈夫です！次に予約している人がいなければ、もう1週間貸出期間を延ばすことができます。ただし読書週間後は通常の6冊貸出に戻ってしまうので、8冊すべての延長はできません。ご注意ください！

ちなみに貸出8冊いっぱいまで借りると、ハリー・ポッターの単行本で第1作『ハリー・ポッターと賢者の石』～第6作『ハリー・ポッターと謎のプリンス』の下巻まで一気に借りられます。



## 図書委員広報班のオススメ本



[913/ヨ] 『64』 横山秀夫：著／文藝春秋

『このミステリーがすごい！』大賞第1位の衝撃の作品、『64』の映画がついに公開！！わずか7日間で終わった昭和64年…その僅かの中に発生した少女誘拐殺人事件、通称「ロクヨン」。事件は解決の日の目を見ることなく14年の時が流れ、平成14年、時効が目前に迫っていた。かつて64の捜査に当たっていた三上は現在警務部の広報官として、記者クラブの確執や刑事部と警務部の対立に神経をすり減らす日々を送っていた。そんなある日、誘拐事件が発生する。それはまるで、ロクヨンを模したような事件だった……。三上は14年振りに、ロクヨンの事件と向き合うことになる！

出演する役者は佐藤浩市、綾乃剛、榮倉奈々、夏川結衣…などの豪華キャストです。前編、後編に分かれており、最後まで目が離せない衝撃のストーリーです。是非映画も小説も読んでみてください。前編は現在公開中、後編も6/11に公開予定です。(5DK)

## 5月の貸出ランキング

- 1位 [913/フ] 『こちらパーティー編集部っ！』シリーズ 深海ゆずは：作／KADOKAWA
- [913/イ] 『死神うどんカフェ1号店』シリーズ 石川宏千花：著／講談社
- 2位 [文庫913/コ] 『陽だまりの彼女』越谷オサム：著／新潮社
- [913/ハ] 『モナミ』シリーズ はやみねかおる：著／KADOKAWA
- [913/ス] 『また、同じ夢を見ていた』住野よる：著／双葉社
- [文庫913/ア] 『そして、君のいない九月がくる』天沢夏月：著／KADOKAWA



## 芸術鑑賞

今年の芸術鑑賞は7/12（火）です。演目はミュージカル「エリザベート」。楽しみですね！  
というわけで、エリザベートに関する本をご紹介します！



[文庫943/ク] 『エリザベート 愛と死の輪舞』

ミヒヤエル・クンツェ：原作、小池修一郎：著／角川書店

宝塚版のミュージカル「エリザベート」の小説。ミュンヘンで活躍する原作者クンツェ氏が創作したものを、宝塚の座付き演出家の著者が演出したものです。芸術鑑賞は、より原作に近い東宝版ですが、大筋は一緒です。



[289/エ] 『皇妃エリザベート ハプスブルクの美神』カトリーヌ・クレマン：著／創元社

エリザベートってどんな人？という人におすすめ。

エリザベートは約120年まで生存していたハプスブルク帝国の皇妃です。よく見る絵画以外にも、写真などの資料が豊富に残っています。多彩な写真やイラストとともに彼女の死からその生涯を紹介する本です。



[289/エ] 『皇妃エリザベート 永遠の美』南川三治郎：写真・文／世界文化社

ウィーン、ブダペスト、ギリシャ・コルフ島などのエリザベートゆかりの地の写真や、靴やドレス、装飾品などの写真が豊富です。

「永遠の美」を追い求めた悲劇の皇妃エリザベートの足跡を追う1冊です。



[234/K] 『図説ハプスブルク帝国』加藤雅彦：著／河出書房新社

700年の間、ウィーンを起点にヨーロッパの歴史を担い、世界史を動かしてきたハプスブルク家。エリザベートが嫁いだオーストリア帝国も、神聖ローマ帝国とオーストリア大公国時代、オーストリア＝ハンガリー帝国の時代と合わせてハプスブルク帝国と呼ばれます。ハプスブルクの成立から近現代まで歴史を語ります。



[775/S] 『一冊でわかるミュージカル作品ガイド100選』瀬川昌久：監修／成美堂出版

日本だけでなく、ブロードウェイやロンドンで上演されたミュージカル作品を舞台写真、ストーリー、エピソード、映画化情報とともにガイドするビギナー向けの入門書。もちろん「エリザベート」も載っています。「エリザベート」からミュージカルに興味を持った人はぜひ！

雨の降る日は、ジメジメとした気分を吹き飛ばすような素敵な本に出会いたいですね☆

